

NPO 法人近畿水の塾 平成 26 年度総会次第

日時：平成 26 年 5 月 31 日（土）13 時 30 分～14 時 20 分

場所：尼崎市立小田公民館

審議事項：

第 1 号議案 平成 25 年度事業報告及び収支決算について

第 2 号議案 賛助会員の会費の変更について

第 3 号議案 平成 26 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

※なお、総会后、14時30分～16時30分まで、

○「尼崎市におけるソーシャルビジネスの取組（なぜ尼崎でS Bか、大学との連携）

安田博之氏&立石孝裕氏（尼崎市役所）

○「ソーシャルビジネスが社会を変える」

能島裕介氏（NPO法人ブレインヒューマニティー（BH）理事長、尼崎市参与）

を予定しています。

第12期（平成25年度）事業報告 （平成25年4月1日～平成26年3月31日）

特定非営利活動法人 NPO 近畿水の塾は、第12期（平成25年度）の事業について、以下のとおり報告する。

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

○継続的な公開研究会「河川塾」の開催

【実施内容】・「私の関わる水環境」などをテーマに、会員を含め会員外の各自の仕事や市民活動等の取り組み紹介を「河川塾」で実施した。

- ・近畿各地で、川歩きなどフィールドワークを積極的に実施した。

【実施場所】大阪府環境農林水産研究所環境情報プラザ等

【実施期間】平成25年4月1日～平成26年3月31日（月1回程度）

2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

○各種イベント、出前講座の実施

【実施内容】・近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、由良川流域の自然・文化・歴史を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、よりよい河川環境保全と流域間連携のあり方について討論する「近畿水環境交流会 in 由良川・福知山」（7/27-7/28）を開催した。

- ・猪名川・藻川まつり（9/22）の中で、E ボートによる水面利用イベントを企画実施した。

- ・猪名川・藻川の合流点にある、「豆島」を活かした地域活動に参画
豆島フェスタ（10/27）では、摂南大学澤井ゼミ・エコシビル部の協力で E ボートも運行した。

【実施場所】由良川・福知山、藻川等

【実施日時】平成25年4月1日～平成26年3月31日

3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

【実施内容】・天若湖アートプロジェクト2013に後援した。

- ・バスツアー『あかりがつかなく記憶：森と水の旅』の運営

【実施場所】京都府南丹市日吉町日吉ダム天若湖畔

【実施日時】平成25年8月3日～8月4日

4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

○ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成等

【実施内容】・川に関わる活動をしている団体や個人を紹介するコーナーやコラムなどを企画し内容を充実させた。

【実施場所】事務局

【実施日時】随時

○他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】・「全国水環境交流会」に積極的に参画した。

- ・「第6回いい川・いい川づくりワークショップ」（「川の日ワークショップ」を引き継ぐもの）等全国的なネットワークにも積極的に参画した。
- ・「淡海川づくりフォーラム」（滋賀県）にも積極的に参画した。結果、滋賀県流域地水室と大阪府「北浜テラス」との連携が生まれた。
- ・神戸「農都ネット」と情報交換を行った。
- ・大島宮窪の川崎良重さんと情報交換を行った。
- ・学生等のインターンシップにより、次世代につなげる連携を行った。

【実施場所】全国

【実施日時】随時

第12期（平成25年度）特定非営利活動に係る事業収支決算書

特定非営利活動法人近畿水の塾

平成25年4月1日から平成26年3月31日

(単位：円)

科 目	決算額	予算額	差異	備 考 (決算)
I 収入の部				
1 入会金・会費収入				
正会員入会金収入	0	10,000	(10,000)	2千*0
正会員会費収入	111,000	165,000	(54,000)	3千*37
賛助会員会費収入	20,000	20,000	0	2千*10
2 寄付金収入	0	0	0	
3 助成金収入	0	0	0	
4 事業収入				
調査・研究事業	3,500	20,000	(16,500)	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	2,000	10,000	(8,000)	総会后記念講演会
助言・支援事業	0	5,000	(5,000)	
交流創出事業	0	5,000	(5,000)	
5 その他収入				
受取利息	252	1,000	(748)	
当期収入合計 (A)	136,752	236,000	(99,248)	
前期繰越収支差額	1,084,312	1,084,000	312	
収入合計 (B)	1,221,064	1,320,000	(98,936)	
II 支出の部				
1 事業費				
調査・研究事業	9,000	20,000	(11,000)	河川塾講師謝礼
シンポジウム等企画・実施事業	82,280	225,000	(142,720)	総会后記念講演会謝礼等
助言・支援事業	0	10,000	(10,000)	
交流創出事業	0	10,000	(10,000)	
その他事業	0	0	0	
2 管理費				
広告宣伝費	0	0	0	
給与手当	0	0	0	
水道光熱費 (事務局)	0	0	0	
通信費	9,870	15,000	(5,130)	切手、振込料
旅費交通費	10,870	20,000	(9,130)	
事務用品費	18,775	5,000	13,775	会計ソフト、封筒
会議費	18,280	25,000	(6,720)	理事会会場費
減価償却費	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
諸会費	0	4,000	(4,000)	
寄付金	0	0	0	
3 予備費	0	2,000	(2,000)	
当期支出合計 (C)	149,075	336,000	(186,925)	
当期収支差額 (A-C)	(12,323)	(100,000)	87,677	
次期繰越収支差額 (B-C)	1,071,989	984,000	87,989	

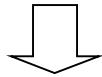
第二号議案：賛助会員の会費の変更について

※定款第20条関係

助会員の会費について、下記のとおり変更する。

(現行)

入会金	0円
年会費一口	<u>2,000円</u>



(変更案)

入会金	0円
年会費一口	<u>1,000円</u>

第13期（平成26年度）事業計画 （平成26年4月1日～平成27年3月31日）

特定非営利活動法人 NPO 近畿水の塾は、第13期（平成26年度）の事業について、以下のとおり計画する。

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

○継続的な公開研究会「河川塾」の開催

【実施内容】・「私の関わる水環境」などをテーマに、会員を含め会員外の各自の仕事や市民活動等の取り組み紹介を「河川塾」で実施する。

・近畿各地で、川歩きなどフィールドワークを積極的に実施する。

・河川塾参加者による積極的感想。良否共、歯に衣着せない骨太議論を心掛ける。

【実施場所】大阪府環境農林水産研究所環境情報プラザ等

【実施期間】平成26年4月1日～平成27年3月31日（月1回程度）

2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

○各種イベント、出前講座の実施

【実施内容】・近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、淀川・寝屋川流域の自然・文化・歴史を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、よりよい河川環境保全と流域間連携のあり方について討論する「近畿水環境交流会 in 寝屋川」（7/26-7/27）を開催する。

・「日本の“いい川”づくりシンポジウム」の地域研修会を近畿で開催する。

・猪名川・藻川まつり（9/21）の中で、Eボートによる水面利用イベントを企画実施する。

・猪名川・藻川の合流点にある、「豆島」を活かした地域活動に参画する。

豆島フェスタ（10/5）では、摂南大学エコシビル部の協力でEボートの運行予定。

【実施場所】藻川等

【実施日時】平成26年4月1日～平成27年3月31日

3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

【実施内容】・天若湖アートプロジェクト2014に後援する。

【実施場所】京都府南丹市日吉町日吉ダム天若湖畔

【実施日時】平成26年8月9日～8月10日

4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

○ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成等

【実施内容】・川に関わる活動をしている団体や個人を紹介するコーナーやコラムなどを企画し内容を充実させる。

・ニュースレターを2回程度発行する。

【実施場所】事務局

【実施日時】随時

○他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】・「全国水環境交流会」に積極的に参画する。新企画も提案する。5月15日、広松伝さん十三回忌と共に柳川で開催された幹事会に参加した。連続して開催された佐賀の川・「地域治水」見学会にも滋賀県流域地水室仲間と一緒に参加した。

・「淡海川づくりフォーラム」（滋賀県）にも積極的に参画する。

・「第7回いい川・いい川づくりワークショップ」（「川の日ワークショップ」を引き継ぐもの）等全国的なネットワークにも積極的に参画する。

・神戸「農都ネット」と情報交換を行う。

- 大島宮窪の川崎良重さんと情報交換を行う。
- 佐賀唐津「七ツ島」の土谷朋子さんと情報交換を行う。(拡大版・フィールド版
河川塾))
- 学生等のインターンシップにより、次世代につなげる連携を行う。

【実施場所】 全国

【実施日時】 随時

第13期（平成26年度）特定非営利活動に係る事業収支予算書

特定非営利活動法人近畿水の塾

平成26年4月1日から平成27年3月31日

(単位：千円)

科目	予算額	前年度決算額	差異	備考(予算額)
I 収入の部				
1 入会金・会費収入				
正会員入会金収入	0	0	0	
正会員会費収入	165	111	54	3千円×55人
賛助会員会費収入	10	20	(10)	1千円×10口
2 寄付金収入	0	0	0	
3 助成金収入	0	0	0	
4 事業収入				
調査・研究事業	20	3	17	
シンポジウム等企画・実施事業	10	2	8	
助言・支援事業	5	0	5	
交流創出事業	5	0	5	
5 その他収入				
受取利息	1	1	0	
当期収入合計(A)	216	137	79	
前期繰越収支差額	1,072	1,084	(12)	
収入合計(B)	1,288	1,221	67	
II 支出の部				
1 事業費				
調査・研究事業	20	9	11	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	200	82	118	拡大版河川塾等
助言・支援事業	10	0	10	
交流創出事業	10	0	10	ニュースレター
その他事業	0	0	0	
2 管理費				
広告宣伝費	0	0	0	
給与手当	0	0	0	
水道光熱費	0	0	0	
通信費	15	10	5	切手、振込料
旅費交通費	20	11	9	
事務用品費	6	19	(13)	
会議費	25	18	7	理事会会場費
減価償却費	0	0	0	
租税公課	0	0	0	市税5万、府税2万減免
諸会費	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
3 予備費	10	0	10	
当期支出合計(C)	316	149	167	
当期収支差額(A-C)	(100)	(12)	(88)	
次期繰越収支差額(B-C)	972	1,072	(100)	

決 算 報 告 書

第 12 期

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

NPO法人 近畿水の塾

貸借対照表

NPO法人 近畿水の塾

平成26年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流動資産】	1,071,989	負債の部計	
現金及び預金	1,071,989	資 本 の 部	
		【資本金】	200,000
		【利益剰余金】	871,989
		当期末処分利益	871,989
		(うち当期利益)	(Δ12,323)
		資本の部計	1,071,989
資産の部計	1,071,989	負債及び資本の部計	1,071,989

損 益 計 算 書

自 平成25年 4月 1日

NPO法人 近畿水の塾

至 平成26年 3月31日

科 目	金 額	
[経常損益の部]		円
(営業損益の部)		
【売上高】		136,500
【売上原価】		
仕入高	91,280	
合計	91,280	91,280
売上総利益		45,220
【販売費及び一般管理費】		57,795
営業利益		Δ12,575
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受取利息	252	252
経常利益		Δ12,323
税引前当期利益		Δ12,323
当期利益		Δ12,323
前期繰越利益		884,312
当期末処分利益		871,989

販売費・一般管理費

自 平成25年 4月 1日

NPO法人 近畿水の塾

至 平成26年 3月31日

科 目	金 額	
		円
事 務 用 品 費	18,775	
旅 費 交 通 費	10,870	
通 信 費	9,870	
会 議 費	18,280	
販売費及び一般管理費		57,795

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人 近畿水の塾

平成26年3月31日現在(単位 円)

科目	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	0	
普通預金	1,071,989	
流動資産合計		1,071,989
2 固定資産		
一括償却資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		1,071,989
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金	0	
短期借入金	0	
流動負債合計		0
負債合計		0
2 資本金	200,000	
資本金合計		200,000
負債・資本合計		200,000
正味財産		871,989

監査報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第12期事業年度の収支決算書、貸借対照表、財産目録、事業報告書を監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

平成26年5月15日

特定非営利活動法人近畿水の塾

監事（署名・捺印） 土谷 朋子 